

相続等に係る生命保険契約等に基づく年金の雑所得の金額の計算書

(所得税法施行令第185条第2項又は第186条第2項に基づき計算する場合)



納税地

氏 名

1 保険契約等に関する事項

年金の支払開始年	①	_____年	年金の支払総額(見込額)に占める保険料又は掛金の総額の割合	④	%
年金の残存期間等 (別表1により求めた年数)	②	_____年	当該年金に係る権利について相続税法第24条の規定により評価された額	⑤	
年金の支払総額(見込額) (別表1により計算した金額)	③		相続税評価割合 (⑤ ÷ ③)	⑥	%

2 所得金額の計算の基礎となる事項

相続税評価割合に応じた割合 (右表により求めた割合)	⑦	%
(③ × ⑦)	⑧	円
別表3により計算した単位数	⑨	単位
1単位当たりの金額 (⑧ ÷ ⑨)	⑩	円

(表) 相続税評価割合(⑥の割合)に応じた割合

相続税評価割合	⑦の割合	相続税評価割合	⑦の割合
50%以下	100%	80%超～83%	17%
50%超～55%	45%	83%超～86%	14%
55%超～60%	40%	86%超～89%	11%
60%超～65%	35%	89%超～92%	8%
65%超～70%	30%	92%超～95%	5%
70%超～75%	25%	95%超～98%	2%
75%超～80%	20%	98%超	0%

3 各年分の雑所得の金額の計算

区 分		⑥が 50%超の場合	⑥が 50%以下の場合
申告を行う年分	⑪		
(⑪ - ① + 1) (注 1)	⑫		
単位数 (⑫ - 1) (注 2)	⑬	単位	単位
支払年金対応額(⑩ × ⑬)	⑭	円	円
(注 3) 年金が月払等の場合	⑮		
剰余金等の金額	⑯		
総 収 入 金 額 (⑭又は⑮) + ⑯	⑰		
必要経費の額 (⑭又は⑮) × ④ (注 4)	⑱		
雑 所 得 の 金 額 (⑰ - ⑱)	⑲		

(注) 1

①の年号が「平成」で⑪の年号が「令和」の場合は、「⑪+31-①」を書きます。
また、「⑪-①+1」(又は「⑪+31-①」)が②の年数を超える場合は、②の年数を書きます。

2

「⑫-1」が、別表3の「特定期間年数」を超える場合には、別表3の「特定期間年数」を書きます。

3

⑥が50%以下の場合で、「⑫-1」が、別表3の「特定期間年数」を超える場合には、⑩×⑬で計算した金額から1円を控除した金額を書きます。
⑭の金額が、各年に支払いを受ける年金額を超える場合は、別表4により計算した金額を書きます。

4

「⑪-①+1」(又は「⑪+31-①」)が、②の年数を超える場合は、「0」と書きます。
また、⑮の金額の記載がある場合には、別紙の書き方を参照してください。